

「昔、わらじ作りを孫に教えたように、子どもたちにパソコンを教えるのは年寄りの役目だと思っています」。仙台市内で高齢者のサークル「パソコンと仲良くする会」を主宰する井桁章さん(83)は、かつて小学校のパソコンボランティア講師をしていた頃、地元紙の取材にこう答えている。これからの暮らしにパソコンは必需品だという思いがあるからだ。

井桁さんは1997年から同世代のために「パソコンと仲良くする会」を開催。そのため、98年に仙台中央郵便局の「情報ひろば」で65歳以上の無料パソコン教室が定員の13倍、394人の応募があった時、大きな反響に周囲は驚いたが、井桁さんは「時代に遅れたくない」という高齢者たちが大勢いることを

シニア デジタル達人伝



ITシニアのパイオニア



仙台シニアネットクラブのパソコン教室で準備体操をする参加者＝仙台市内

広がるパソコン無料指導

予想できたという。

「情報ひろば」の卒業生の中から、郵政職員OBが中心

を受け、NPO法人として活動が続いている。

となつて高齢者によるパソコンボランティア団体「仙台シニアネットクラブ」が誕生し、パソコンさえあれば、誰でもどこでもできる楽しいボランティア活動です」

井桁さんが仙台シニアネットクラブの代表を降りて7年が経過した2012年、内閣府から「エイジレス・ライフ実践者」に選ばれた。受賞理由の一つが176回を超える「パソコンと仲良くする会」の開催である。心からお祝い

など各地でシニアパソコンクラブが発足。仙台シニアネットクラブは各地のモデルとなった。現在は仙台市の支援を

(老テク研究会事務局長・近藤則子)

井桁章さんのホームページは「<http://www.2u.biglo.bene.jp/~igetaj/>」。